

上場会社名 株式会社ミクシ 上場取引所 東  
 コード番号 2121 URL <https://mixi.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 弘毅  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 大澤 弘之 (TEL) 03-6897-9500  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	87,737	21.2	18,582	280.2	15,461	405.9	15,398	401.3	10,433	—
2020年3月期第3四半期	72,364	△31.7	4,887	△82.3	3,055	△88.6	3,071	△88.6	402	△97.6

※EBITDA=減価償却費及びのれん償却額を考慮しない営業利益ベースの数値

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 10,921百万円(—%) 2020年3月期第3四半期 234百万円(△98.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	138.46	136.84
2020年3月期第3四半期	5.34	5.30

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	216,393	184,138	84.5
2020年3月期	202,814	181,305	88.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 182,803百万円 2020年3月期 180,124百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	55.00	—	55.00	110.00
2021年3月期	—	55.00	—		
2021年3月期(予想)				55.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,000	7.0	23,000	14.6	19,000	10.8	19,000	12.3	13,000	20.8	172.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	78,230,850株	2020年3月期	78,230,850株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	2,858,900株	2020年3月期	2,881,300株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	75,356,106株	2020年3月期3Q	75,349,550株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因の変化により、これらを業績見通しとは異なる結果となることをご承知の上、投資判断を下される様お願い致します。業績予想の前提となる仮定等につきましては、四半期決算短信(添付資料)P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 当社は、2021年2月5日に機関投資家及び証券アナリスト向けの電話会議を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

※ 対前期(対前年同四半期)増減率が1,000%以上となる場合は「-」を記載しています。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(企業結合等関係)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

2019年10月31日に行われた株式会社千葉ジェッツふなばしとの企業結合及び2019年11月29日に行われた株式会社ネットドリーマーズとの企業結合について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、第2四半期連結会計期間に資産・負債への取得原価の配分が完了しております。これに伴い、遡及修正後の数値を用いて比較分析を行っております。

## (1) 経営成績に関する説明

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	72,364	87,737	21.2%
EBITDA(百万円)	4,887	18,582	280.2%
営業利益(百万円)	3,055	15,461	405.9%
経常利益(百万円)	3,071	15,398	401.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	402	10,433	—%

(注) 親会社株主に帰属する四半期純利益の増減率は、1,000%以上となるため「—」と記載しております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は87,737百万円(前年同四半期比21.2%増)となりました。また、EBITDAは18,582百万円(前年同四半期比280.2%増)、営業利益は15,461百万円(前年同四半期比405.9%増)、経常利益は15,398百万円(前年同四半期比401.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は10,433百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益402百万円)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

第1四半期連結会計期間から、報告セグメントの名称及び区分方法を変更しており、以下の前年同四半期比較及び分析については、変更後の区分に基づいて記載しております。

また、事業セグメントの利益の測定方法は、減価償却費及びのれん償却額を考慮しない営業利益ベースの数値(EBITDA)としております。

## ① デジタルエンターテインメント事業

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	65,533	74,027	13.0%
セグメント利益(百万円)	14,752	31,731	115.1%

デジタルエンターテインメント事業は、スマートデバイス向けゲーム「モンスターストライク」を主力として収益を上げております。「モンスターストライク」の売上高は、新たなクエストの追加や有力IPとのコラボ等が功を奏し、好調に推移しております。加えて、スマートデバイス向けゲーム「コトダマン」の売上も順調に拡大しており、「モンスターストライク」以外のサービスの収益化も進んでおります。また、2020年11月には新作スマートデバイス向けゲーム「スタースマッシュ」の配信を開始するなど、新規アプリゲームの開発も進めており、収益の安定化及び収益性の向上に取り組んでおります。

この結果、当事業の売上高は74,027百万円(前年同四半期比13.0%増)、セグメント利益は31,731百万円(前年同四半期比115.1%増)となりました。

## ② スポーツ事業

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	2,902	8,866	205.5%
セグメント損失(△)(百万円)	△2,191	△4,448	—%

スポーツ事業では、プロスポーツチーム経営、公営競技関連事業への投資を行っております。連結子会社である株式会社チャリ・ロト及び2020年6月にリリースしたスポーツベッティングサービス「TIPSTAR」の車券販売取扱高が好調であったことや、株式会社ネットドリーマーズを子会社化した影響で前第3四半期連結累計期間と比較して売上高

が増加しております。一方、「TIPSTAR」の開発費用や広告宣伝費等の先行投資が発生したことで費用が増加しております。

この結果、当事業の売上高は8,866百万円（前年同四半期比205.5%増）、セグメント損失は4,448百万円（前年同四半期はセグメント損失2,191百万円）となりました。

### ③ ライフスタイル事業

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	3,928	4,843	23.3%
セグメント損失(△)(百万円)	△365	△22	－%

ライフスタイル事業では、SNS「mixi」、家族向け写真・動画共有アプリ「家族アルバムみてね」、サロンスタッフ直接予約アプリ「minimo」を中心に各種サービスを運営しております。「家族アルバムみてね」はマネタイズの強化を推進しており、株式会社スフィダンテと連携したギフトサービスの展開や、年賀状アプリ「みてね年賀状」が好調であったことにより、売上高は前第3四半期連結累計期間と比較して増加しております。

この結果、当事業の売上高は4,843百万円（前年同四半期比23.3%増）、セグメント損失は22百万円（前年同四半期はセグメント損失365百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 財政状態

当第3四半期連結会計期間の財政状態は、資産については流動資産が159,136百万円（前連結会計年度末比13,017百万円増加）となり、主な要因としては、税金等調整前四半期純利益による資金の増加があげられます。固定資産は57,257百万円（前連結会計年度末比562百万円増加）となっております。

負債については、流動負債が24,752百万円（前連結会計年度末比10,993百万円増加）となり、主な要因としては、未払法人税等などの増加があげられます。純資産は184,138百万円（前連結会計年度末比2,833百万円増加）となり、主な要因としては、利益剰余金の増加があげられます。

### ② キャッシュ・フローの状況の分析

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度末と比べて18,813百万円増加し、144,240百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において営業活動により獲得した資金は29,130百万円（前年同四半期は12,002百万円の獲得）となりました。これは主に、売上債権の減少額2,915百万円及び税金等調整前四半期純利益15,811百万円によるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は3,266百万円（前年同四半期は24,654百万円の使用）となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出3,569百万円があったことによるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において財務活動により使用した資金は7,032百万円（前年同四半期は7,858百万円の使用）となりました。これは主に、配当金の支払7,844百万円があったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年11月6日の開示時点から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	125,427	144,240
受取手形及び売掛金	14,254	11,338
商品	256	212
未収消費税等	1,248	—
その他	4,977	3,391
貸倒引当金	△44	△45
流動資産合計	146,119	159,136
固定資産		
有形固定資産	10,338	9,611
無形固定資産		
顧客関連資産	7,671	7,163
商標権	3,302	3,085
のれん	11,937	11,139
その他	2,503	2,329
無形固定資産合計	25,413	23,717
投資その他の資産		
投資有価証券	9,917	13,715
繰延税金資産	6,111	5,733
その他	4,915	4,480
貸倒引当金	△2	△1
投資その他の資産合計	20,942	23,927
固定資産合計	56,694	57,257
資産合計	202,814	216,393
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	671	1,593
未払金	8,186	9,581
未払法人税等	124	3,800
未払消費税等	—	1,164
賞与引当金	1,262	428
その他	3,515	8,184
流動負債合計	13,759	24,752
固定負債		
長期借入金	2,952	2,999
繰延税金負債	3,418	3,393
その他	1,379	1,109
固定負債合計	7,749	7,502
負債合計	21,508	32,255
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,698	9,698
資本剰余金	9,660	9,620
利益剰余金	171,138	173,283
自己株式	△10,905	△10,821
株主資本合計	179,592	181,782
その他の包括利益累計額		

その他有価証券評価差額金	330	846
為替換算調整勘定	201	174
その他の包括利益累計額合計	532	1,020
新株予約権	971	1,280
非支配株主持分	209	55
純資産合計	181,305	184,138
負債純資産合計	202,814	216,393

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	72,364	87,737
売上原価	15,162	19,629
売上総利益	57,201	68,108
販売費及び一般管理費	54,145	52,646
営業利益	3,055	15,461
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	—	8
為替差益	1	10
その他	306	210
営業外収益合計	309	230
営業外費用		
支払利息	7	11
投資事業組合運用損	242	233
その他	43	47
営業外費用合計	293	292
経常利益	3,071	15,398
特別利益		
固定資産売却益	3	0
投資有価証券売却益	—	530
特別利益合計	3	531
特別損失		
本社移転費用	466	—
特別退職金	—	100
固定資産除売却損	43	8
減損損失	69	—
賃貸借契約解約損	—	9
その他	21	—
特別損失合計	600	118
税金等調整前四半期純利益	2,474	15,811
法人税、住民税及び事業税	222	5,287
法人税等調整額	1,850	91
法人税等合計	2,072	5,378
四半期純利益	401	10,432
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	402	10,433



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	401	10,432
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△124	515
為替換算調整勘定	△43	△26
その他の包括利益合計	△167	488
四半期包括利益	234	10,921
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	234	10,922
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△1

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,474	15,811
減価償却費	798	1,079
無形固定資産償却費	676	1,243
減損損失	69	—
のれん償却額	356	797
貸倒引当金の増減額(△は減少)	10	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△555	△833
受取利息及び受取配当金	△1	△8
支払利息	7	11
為替差損益(△は益)	2	10
投資事業組合運用損益(△は益)	242	233
固定資産除売却損益(△は益)	39	8
たな卸資産の増減額(△は増加)	62	42
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△530
売上債権の増減額(△は増加)	△32	2,915
未払金の増減額(△は減少)	4,205	1,179
未払消費税等の増減額(△は減少)	△48	1,164
その他	5,649	7,327
小計	13,958	30,454
利息及び配当金の受取額	5	8
利息の支払額	△7	△10
法人税等の支払額	△1,954	△1,221
特別退職金の支払額	—	△100
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,002	29,130
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△4,656	△444
無形固定資産の取得による支出	△221	△380
無形固定資産の売却による収入	15	0
投資有価証券の取得による支出	△3,106	△3,569
投資有価証券の売却による収入	100	573
投資有価証券の分配による収入	176	264
差入保証金の差入による支出	△121	△1,145
事業譲受による支出	△1,030	—
敷金及び保証金の回収による収入	10	1,390
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△15,825	—
その他	4	45
投資活動によるキャッシュ・フロー	△24,654	△3,266
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△177
短期借入金の純増減額(△は減少)	337	1,184
長期借入れによる収入	—	240
長期借入金の返済による支出	△16	△454
配当金の支払額	△8,205	△7,844
その他	26	19
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,858	△7,032
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12	△18
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△20,523	18,813
現金及び現金同等物の期首残高	144,417	125,427
現金及び現金同等物の四半期末残高	123,894	144,240

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	デジタルエン ターテインメ ント事業	スポーツ事業	ライフスタイル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	65,533	2,902	3,928	72,364	—	72,364
セグメント間の内部売上 高又は振替高	0	—	—	0	△0	—
計	65,533	2,902	3,928	72,364	△0	72,364
セグメント利益又は損失 (△)	14,752	△2,191	△365	12,194	△9,138	3,055
その他の項目						
減価償却費	413	458	125	998	476	1,474
のれん償却額	—	282	74	356	—	356

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△9,138百万円には、報告セグメントの減価償却費△998百万円及びのれん償却額△356百万円並びに各セグメントに配分していない全社費用△7,783百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が低いため省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	デジタルエン ターテインメ ント事業	スポーツ事業	ライフスタイル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	74,027	8,866	4,843	87,737	—	87,737
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	74,027	8,866	4,843	87,737	—	87,737
セグメント利益又は損失 (△)	31,731	△4,448	△22	27,260	△11,799	15,461
その他の項目						
減価償却費	317	1,025	206	1,548	775	2,323
のれん償却額	—	702	95	797	—	797

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△11,799百万円には、報告セグメントの減価償却費△1,548百万円及びのれん償却額△797百万円並びに各セグメントに配分していない全社費用△9,453百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは第1四半期連結会計期間から、事業ポートフォリオの変化に合わせた事業ドメインの定義を行ったため、報告セグメントの名称及び区分方法を以下のとおりに変更しております。

従来「エンターテインメント事業」「ライフスタイル事業」としておりましたセグメントの名称及び区分方法を、第1四半期連結会計期間から「デジタルエンターテインメント事業」「スポーツ事業」「ライフスタイル事業」に変更しております。従来「エンターテインメント事業」に属していた連結子会社のうち5社を「スポーツ事業」に区分しております。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づいて記載しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

(企業結合に係る暫定的な処理の確定)

株式会社千葉ジェッツふなばし

2019年10月31日付で行われた株式会社千葉ジェッツふなばしとの企業結合について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、第2四半期連結会計期間に確定しております。この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の配分に重要な見直し反映されております。

この結果、主に無形固定資産の顧客関連資産が増加し、暫定的に算定されたのれんの金額939百万円は、会計処理の確定により897百万円減少し、42百万円となっております。

株式会社ネットドリーマーズ

2019年11月29日付で行われた株式会社ネットドリーマーズとの企業結合について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、第2四半期連結会計期間に確定しております。この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の配分に重要な見直し反映されております。

この結果、主に無形固定資産の顧客関連資産が増加し、暫定的に算定されたのれんの金額13,019百万円は、会計処理の確定により4,628百万円減少し、8,391百万円となっております。